

平成28年第2回定例会一般質問

平成28年第2回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 6月6日(月) 午前11時から
 6月7日(火)、9日(木)、10日(金) いずれも午前10時から
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

問合せ先 議会事務局(電話042-387-9947)

発言順	議員名	質問日(予定)
1	露 口 哲 治	平成28年6月6日(月)
2	中 山 克 己	
3	岸 田 正 義	
4	小 林 正 樹	
5	鈴 木 成 夫	
6	遠 藤 百 合 子	平成28年6月7日(火)
7	渡 辺 大 三	
8	宮 下 誠	
9	渡 辺 ふ き 子	
10	関 根 優 司	
11	水 上 洋 志	平成28年6月9日(木)
12	田 頭 祐 子	
13	林 倫 子	
14	百 瀬 和 浩	
15	板 倉 真 也	
16	紀 由 紀 子	平成28年6月10日(金)
17	坂 井 え つ 子	
18	斎 藤 康 夫	
19	片 山 薫	
20	森 戸 洋 子	
21	吹 春 や す た か	

一般質問の通告について

発言順

1

平成28年 5月26日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) つゆぐち てつじ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、住民からの提案、交通事故減少に向けて問う。 (1) 警視庁では高齢者の自動車運転の講習会や免許証の返納を進めています。小金井市は運転免許証の返納時にココバス無料券を差し上げるなどの施策を考えては如何か。 (2) 私が毎日通る霊園通りは制限時速40キロです。道路事情を一度精査して制限時速は30キロが妥当と考えますが、市として交通管理者となぜ話し合わないのか。多磨霊園南参道と霊園通り	
2、水源地から蛇口まで、小金井市の水はほんとうに美味しいのか、また、美味しい地下水の割合は以前のように増えたのかなどを問う。 (1) 小金井市域の地下水について、現状はどうなっているのか。 (2) 飲料水と湧水について、飲料水の河川と地下水割合はどのように変わっているのか。現状は美味しい飲み水と言えるのか、市民への情報提供は十分か。	
3、高齢者住宅入居希望者は多い、高齢者住宅に係る経費はシェアすべきではないか。 (1) 高齢者住宅に係る経費をどのように考えているのか。高齢者住宅の現状を問う、高齢者住宅一人当たりへの補助金はどれほどか。高齢者住宅の空きを待ち望んでいる人はどれくらいいるのでしょうか。 (2) 空いているアパートや戸建て住宅を安価で借り上げてはどうか。	
4、本町暫定庁舎の現状と有効利用について問う。	
5、東八道路の前原4丁目~5丁目をつなぐ前原歩道橋について問う。 車社会の遺物、歩道橋の撤去と安全な歩道帯設置の進ちょく状況は如何か。	

一般質問の通告について

発言順

2

平成28年5月26日
(西暦2016)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

中山克己

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
熊本・大分を中心とする平成28年熊本地震で被災しお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれました皆様方にお見舞申し上げます。	
一日でも早く日常生活に戻っていただけますようお願い申し上げます。	
1. チャレンジデー2016の成果と課題について。	
小金井市が今年初勝利した。取組み全般の成果と今後への課題は？	
2. 市内公共施設の2016年問題の影響と今後について。	
予約が取れなくなるなど市民に影響はでないのか？	
3. 改正公職選挙法への対応について。	
投票所の多箇所設置、共通投票所、投票時間の延長や前倒し等への対応は？	
4. 本庁舎の耐震対策の今後について。	
熊本地震を踏まえ本庁舎の耐震化への取組み、事業継続計画への取組みは？	
5. 福祉会館跡地の地上権の取扱いについて。	
H39年まで独占排他的に使える地上権の後は。適正評価への対応等どうか？	
6. 20～30年後のランドデザインとは。	
策定のための具体的な動きや方針等は？	
7. 来年度の職員採用試験について。	
職員数を減らす方針のなか採用者数との兼合いは？方針と矛盾がないか？	
8. 理事者の報酬減額への今後の対応は。	
副市長も決まり体制が整ったはずだがいつからか？やらないなら理由は？	

一般質問の通告について

発言順

4

平成28年05月30日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 「食品ロス」についての取り組みをしないか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育・教育現場での啓発の実態と今後の取り組みについて・ 商店や飲食店との連携について・ 賞味期限切れ前の備蓄品の活用について・ 小金井市独自の運動を行わないか・ フードバンク等を活かした子ども食堂などの取組について <p>2. 環境に配慮した小金井市をみんなで築かないか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 家庭の省エネの取組を評価するチャレンジ制度をつくらないか・ 家庭や事業所の緑のカーテンを紹介できないか・ 緑小学校のフジの緑のカーテンを維持・拡大しないか	

一般質問の通告について

発言順

6

平成~~28~~年5月30日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

遠藤 豆合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、「子どもたち」「高齢者」みんなで見守り地域の中で 子どもや高齢者の安全・安心の確保は家族にとって最大の 関心事で、社会全体で取り組むことが必要とされる	
(1) 子どもを見守る家、カンガルーのポケットの現状および 今後の方向性	
(2) 下校時の見守り体制	
(3) 防災行政無線での「ふれあいメロディー」の活用	
(4) 安全安心まちづくり条例の具体的動向	
(5) 安全安心メール配信システムの現状と利用拡大	
(6) ワンワンパトロール実施の可能性	
(7) JA東京むさし等、民間事業者との連携	
(8) 高齢者等の見守りに関する協定の現状と今後	
2、がん対策基本法改正に小金井市として、どう取り組むのか	
3、女性活躍推進法成立を受け、小金井市役所の現状と今後	
4、小口事業資金融資あっせん制度の申し込み枠を現状の 自治体枠から拡大しないか	

一般質問の通告について

発言順	7
-----	---

平成28年5月30日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺大之

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 市長の「6施設複合化」公約撤回について</p> <p>(1) 「熊本地震」を理由に挙げている件について。 (2) 「福祉会館の利用者の声」を理由に挙げている件について。 (3) 「財政問題と切り離して6施設複合化はできる」との市長の選挙時の主張の妥当性について。 (4) 庁内プロジェクトチームの「中間報告」の在り方について。</p> <p>2 市庁舎は、床面積縮減の上で、蛇の目ミシン工場跡地に福祉会館と複合建築を</p> <p>(1) 危機的財源不足の小金井市の新庁舎は、当面、「フル規格(12000㎡)」ではなく、「現在の面積(8700㎡/本庁舎2700㎡+第二庁舎6000㎡)」を基本に整備すべきではないか(※福祉会館は別途3500㎡)。フル規格で整備した場合、図書館本館や公民館本館の建て替えに財源的な支障は出ないのか。 (2) 蛇の目ミシン工場跡地北側のJR中央線高架下は蛇の目ミシン工場跡地と一体で活用すべきではないか。 (3) 蛇の目ミシン工場跡地の既存樹木は、可能な限り存続させる形で、緑豊かな新庁舎敷地整備計画を策定すべきではないか。福祉会館利用者等が屋外でくつろげ、公園都市のイメージを大切に、災害対策も考慮する意味で、緑化した防災公園機能を確保すべきではないか。</p> <p>3 「市報こがねい」の紙面刷新を</p> <p>(1) シティプロモーションの充実に向け、先進自治体の取り組みを参考にして、「市報」の紙面刷新を。 (2) 先般提案した、小金井市をPRするリーフレット作成をどのように進めていくか。</p> <p>4 交通安全対策・歩行者自転車の利便性対策・防犯対策・緑化施策の充実を</p> <p>(1) 道路標識・道路標示等について。 (2) 街路灯(防犯灯)について。 (3) JR中央線高架下における歩行者自転車専用道路について。 (4) 駅周辺及び道路沿いの緑化について。 (5) 市内での事故・犯罪・火災の情報を警察や消防から定期的に入手し、市議会の所管委員会に報告し、市としての施策形成に生かしていくべきではないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

9

平成28年5月30日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

渡辺 了子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 市内の迷惑空き家等の対策について</p> <p>① 空き家対策特別措置法施行から一年になるが、空き家対策の進捗状況は</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの小金井市の対応と改善等の状況について <p>② 今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">・特定空き家について・空き家等対策計画策定について <p>③ ごみ屋敷等の迷惑家屋に対する我が市の取り組みについて</p> <p>2. ココバス等市内の交通機関にヘルプマークの導入を 原因不明の痛みが続く線維筋痛症等の内部疾患や、内部障がい等に対する配慮を進めるべき</p> <p>① 医療講演会等を開催し、外見では分かりにくい疾患について市民に広く周知すべき</p> <ul style="list-style-type: none">・ヘルプカードと合わせてヘルプマークの周知を進めるべき <p>② 公共施設に思いやり駐車場の整備を進めないか</p> <ul style="list-style-type: none">・本当に必要な人が利用できるよう分かりやすい看板等を設置し利用者に周知する <p>3. B型肝炎ワクチン予防接種について</p> <p>10月から始まる定期接種への対応と、対象者から外れてしまう乳幼児への助成事業の推進について</p>	

一般質問の通告について

発言順	11
-----	----

平成 年 5月 30日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 水上 祥志

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 誰もが安心して利用できる介護の充実を	
① 福祉用具レンタルの自己負担増案について	
ア 国の方向と影響について	
イ 負担増を行わないよう意見要望をあげるべき	
② 新総合事業について問う	
ア 具体化の進捗状況について	
イ サービスが低下しないよう最大限の努力を求める	
2. 緑中学校の生徒数増加に伴う対策について問う	
3. ココバス北東部循環の改善を求める	
ア 最終便の時間延長を求める	
イ 緑町一丁目交差点付近にバス停の新設を求める	

一般質問の通告について

発言順

12

2016年 5月30日
(平成28年)

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書(一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 自治体職員のモチベーションアップの施策とは</p> <p>(1) 小金井市の普通退職者の状況は</p> <p>(2) 平成26年度の人材基本方針の進捗見直しの結果は</p> <p>(3) 職員全体としてのキャリア形成支援についての検討結果は</p> <p>(4) 職員研修について</p> <p>(5) インセンティブ・システムの構築と、その有効化は</p> <p>2. 教育費の保護者負担の軽減を</p> <p>(1) 就学援助制度の積極的な活用を</p> <p>(2) 教育費の保護者負担について、実態調査を</p> <p>(3) 保育園や学校給食費を無償化しないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

13

2016年 5月30日

(平成28年)

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 杯倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 放課後子ども教室、今後の運営について</p> <p>(1) 放課後子ども教室、現在の小金井市の取り組みは</p> <p>(2) 国は、2019(平成31)年度末までに1万ヶ所で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施を目指すとしているが、小金井市の考えを問う</p> <p>(3) 中学校での子どもの居場所について見解と今後の活用を伺う</p> <p>2. 計画策定時の市民参加について</p> <p>(1) 「公共施設等における市民意見交換会」から今後の小金井市の市民参加の方向性を伺う</p> <p>(2) 市民参加を推進するためには、早い段階からのていねいな説明が不可欠だ</p> <p>3. 街路樹の選定に環境配慮の視点を</p> <p>(1) 街路樹の植栽に計画や方針があるか</p> <p>(2) 樹種の選定時に大気を浄化する効果の高いものを選別して導入すべき</p> <p>(3) 街路樹の剪定にも市民参加を促さないか</p>	

一般質問の通告について

発言順	15
-----	----

平成 年 5 月 30 日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 子どもの貧困対策の取組みの充実を	
(1) 子どもの貧困対策の重要性に対する認識を問う	
(2) 「子ども食堂」など、子どもの居場所づくりの取組みに対する支援を	
(3) 学習支援制度の拡充を	
(4) 就学援助制度の基準引き下げを中止し、施策の拡充を	
(5) 給付型奨学資金制度の拡充を	
(6) 貧困状況にある子どもや家庭の実態把握と支援ニーズ調査を行ない、支援計画の策定を	
2. 住宅供給公社住宅の耐震不足取壊し後の活用策について	
(1) 真井住宅 5 号棟の跡地に福祉施設を	
(2) 本町住宅 8-6 号棟、8-7 号棟の跡地に福祉施設を	
(3) 今後想定される全面建て替え時には、居住者の追い出しにならないよう、家賃の引き上げを行なわずに住み続けられる家賃を維持するよう 供給公社に求めていくべき	

平成28年5月30日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 学校給食に地場産野菜を促進したいか (1) 学校給食の供給ルート工夫を	
(2) 小平市のように学校給食に対して、地場産農産物利用促進事業補助金を行わないか	
2. 自転車の利用・交通安全の向上について	
(1) 自転車レーン等の自転車の走行空間の整備を	
(2) 自転車利用者のルール・マナー向上の啓発を行わないか(自転車ルール・マナーに関する検定等)	
(3) 子どもたち以外の購入補助を行わないか	
(4) 自転車条例の設置を行わないか	
(5) レンタサイクルの推進を	

一般質問の通告について

発言順

17

平成 年 5月 30日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 坂井 えっ子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 災害時こそ“要援護者”へ適切な配慮を	
(1) 福祉避難所の現状は (2) “やさしい日本語”の活用を	
災害が起こるたび、お年寄りや障がいのある方、女性や子ども、日本語を母国語としない方、ペットと暮らす方たちへの配慮が行き届いていない現状が明らかになる。まずは、福祉避難所の現状と、日本語を母国語としない方への対応を問う。	
2 小金井にも“みんなの学校”を ~障がいを持つ子どもと学校	
(1) 就学相談の現状と支援体制は	
(2) 4月から“障害者差別解消法”が施行された。学校における合理的配慮は	
(3) 都は2016年度以降、準備の整った市区町村から、各小学校に特別支援教室を設置するとしている。小金井市での進捗状況は	
大阪市立の大空小学校では、「すべての子どもの学習権を保証する学校をつくる」ことを理念としており、他の学校に通えなくなった子どもも共に学んでいる。まずは、小金井市における、障がいを持つ子どもと保護者への対応を問う。	
3 野川やはけ(国分寺崖線)と市民生活を壊す道路はいらない	
(1) 都市計画道路第四次事業化計画のパブコメと市民の声をどう受け止めているか	
(2) 市民参加で野川とはけを守っていこう	
西岡市長が、小金井の「宝」という野川や、はけを守るまちづくりを市民参加で進めよう。	

一般質問の通告について

発言順

18

平成 28年 5月 30日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 公共施設の配置計画について問う</p> <p>ア) 西岡市長は、臨時会において6施設複合化を断念し、2施設複合化へと方針転換した。その内容について問う。</p> <p>1) そもそも、6施設でなく5機能6棟と表現すべきである。そのうち、3機能4棟を複合化するとの方針転換ではないのか。</p> <p>2) 残りの2機能は、時期をずらして複合化するのか。</p> <p>3) とりわけ、福祉会館を優先するという表明の内容について。</p> <p>4) 施設を複合化するメリット、デメリットについて。</p> <p>5) 庁舎建設のスケジュールの遅延は、第二庁舎の賃借期間延長となる。</p> <p>イ) 図書館の建替えの今後の計画について。民間活力の活用をどのように考えているか。</p> <p>ウ) 公民館分館・会館・集会施設等の貸し館スペースの今後。</p> <p>エ) 本庁舎跡地・暫定庁舎跡地・旧福祉会館跡地の今後の利用。</p> <p>2. 教育費の平成26年度歳出最下位の詳細について</p> <p>ア) 他市との比較、款・項・目・節</p> <p>イ) 他市の、1校あたりの児童・生徒数</p>	

2016年5月30日

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山かおる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 掛川市の生活再建型納税相談を参考に、生活困窮者自立相談事業の充実と庁内各部署の連携を</p> <p>生活困窮者への確実な支援を行うためには、庁内での連携が必須である。静岡県掛川市では滞納整理業務を改善し、債権管理条例を作り、納税課が困窮者の生活再建支援を提案するまでに至っている。小金井では、だれも見捨てないサポート体制をどのように確立できるのか。</p> <p>1) 生活困窮者自立相談事業にかかる庁内連携の現状は。</p> <p>2) 掛川市の滞納整理業務、債権管理条例と債権回収整理計画、および生活再建型納税相談事業について</p> <p>3) 自立相談サポートセンターの今後。子ども食堂への支援、フードバンクなど、子どもの貧困対策の拠点としても有効活用しないか。子どもの貧困対策は、すなわちおとなへの支援強化でもある。</p> <p>2. 教育費無償化にむけて、まずは就学援助の充実に取り組もう</p> <p>憲法で定められているにも関わらず、教育は無償となっていない。どのような環境に育つ子どもであっても教育を受ける権利を保障するために、就学援助の充実をはじめ保護者負担の軽減などを速やかに検討すべきである。</p> <p>1) 就学援助認定倍率が引き下げられたことによる影響。</p> <p>2) 就学援助認定にかかる生活保護基準の算定について。</p> <p>3) 保護者負担の教材費等の詳細な調査を行い、公費負担を増やすべきである。</p> <p>4) 教育費無償となっていない現在、就学援助をもっと広報し充実すべきである。</p>	

一般質問の通告について

平成28年 5月30日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 吹巻やすたか

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 学童保育について	
・2所化で運営している「ほんちょう学童」は、早急な対策が必要ではないか。	
2 大震災発災など非常時における、小中学校校外活動での連絡について	
・小中学校の校外活動に「MCA無線」を携行所持してはどうか。	
3 小金井市消防団について	
・小金井市の消防団員への対応はどうか。	
・小金井市消防団の装備品について。	
・小金井市消防団の詰所の耐震構造に問題は無いか。	
4 小金井市が大震災に見舞われた際の対応について	
・「感震ブレーカー」を普及させてはどうか。	
・発災時の市の対応はどうか。	
・災害対策本部を含む、各拠点の再確認と市民への広報はどうか。	
・避難所の場所や、避難後の生活などでの、対応はどうか。	
5 小金井市の“魅力”の有効活用について	
・「野川、はげ」の自然を全国に発信するためモニュメントを遺してはどうか。	